



田口小学校だより 2号

令和4年6月1日

# ごりようかく

文責:長澤永子(教頭)

## <4月・5月のトピックス>



高学年の自転車教室がありました。自転車に乗る前の自転車点検、自転車をこぎ出す前の後方確認。加害者にも被害者にもならないためにしっかり学びました。



見守り隊紹介式がありました。登下校だけではなく、いつも子どもたちの事を気にかけてくださり感謝です。この1年間、感謝しつつ安全に登下校していきましょう。



昨年度末は、コロナウイルス感染レベルが高かったため児童会の引き継ぎが例年のようにはできませんでした。しかし、6年生は今年度の児童会目標を明確にし、全校のみんなが田口小最後の1年を楽しく過ごせるよう様々な計画を立てています。5月には児童総会が行われました。質問や意見に対し、テキパキと返答する姿が立派でした。



1年生～3年生が春の遠足に行ってきました。雨の心配もありましたが、それぞれの目的地に着き、見学したり思いっきり遊んだりしてきました。「お弁当、最高においしかったよ」「毎日、遠足がいい。」と話をしてくれたお友だちもいました。



今年の春は、多くの学年が城山へ上りました。城山から見える学校は、五稜郭の中で桜の花に囲まれて建っていて、その堂々とした姿が格好よく見えました。改めて田口小が誇りに思えました。五稜郭学習も始まっています。

# 閉校記念空撮・通学路説明会・PTA 作業 ご協力ありがとうございました



閉校記念空撮



PTA 作業

通学路説明会



どの行事にも多くの保護者、地域の方が来校されました。空撮セレモニーでは、「ありがとう 田口小」の横断幕や閉校までのカウントダウンボードのお披露目がありました。写真ができあがりましたら、校内に掲示しますのでご覧下さい。PTA作業では学校の教育環境を整えていただき、通学路説明会では新校への通学について活発なご意見を頂戴しました。保護者や地域の皆様に支えていただいていることに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

校長室だより

## 再選択の保証

校長 井出 誠一

今は社会人3年目を迎えた娘が、かつて高校に入学したとき、部活動の選択で悩んだことがあった。練習が厳しいと評判の体育会系の部活動に興味があったが、その練習に自分が耐えられるかどうか不安だと言う。そんな娘に、妻は、

「だめだったらやめてもいいんだよ。やれるだけやってみたら？」と声をかけていた。

子どもが物事に取り組み始めるとき、私たちは「最後までがんばって欲しい」と願う。そして苦しいときに「あきらめずにがんばれ！」と声をかける。それは親として、あるいは教師としての良心であり、愛である。だが一方で、途中で進路変更してもいいんだと保証してあげることも、私たち大人の大事な役割ではないだろうか。

4月、胸一杯に満ちるほどの希望と目標を持って新年度の生活をスタートさせた子どもたち。2ヶ月がたった今、その気持ちに変化が見られる子どもたちもいる。中には、がんばり通せない自分を責めている子もいるだろう。そんな子たちには「途中でやめたっていいんだよ。次の目標を考えよう。」と言ってあげたい。

高校時代、妻の声かけを覚えていたのかどうかは定かでないが、娘は途中で転部をし、その後改めて入り直した部活のマネージャーとして精一杯の活動をした。そして選手たちに頼られる存在になった。がんばり通せることはすばらしいこと。でも、自分の気持ちに正直に、歩みを修正できることも素敵なことだと私は思う。

## お知らせ

- ・昨日、「音楽会のお知らせ」を配布しました。例年と変わっているところもありますのでご確認をお願いします。DVDの注文は古封筒にお金を入れ、申し込んで下さい。
- ・今週末は、土曜参観とたつおかフェスタです。ご来校お待ちしております。
- ・今年度の学校要覧を近日中に配布いたします。ご覧下さい。
- ・音楽会終了後にはプールの学習が始まります。ご準備お願いいたします。暑さ対策を考慮し、今年度も2学期までプールの学習を行います。夏休みのプール開放も行います。詳細は後日連絡いたします。